

エグゼクティブサマリー

デジタルネイティブ企業 (DNB) はインターネット時代に誕生した企業であり、誕生時に利用可能だった最新のテクノロジーを中心に構築されています。

ゲーム、小売、教育などのさまざまな業界で、古いテクノロジーやプロセスという足枷のないデジタルネイティブ企業が、テクノロジーと同じスピードで動き、オンラインでの仕事、生活、遊びに対する顧客の需要に対応しています。

テクノロジー調査会社の IDC によると、DNB は 2026 年までに最大 1,289 億ドルをテクノロジーに費やすと予測されています。

2024 年 3 月から 5 月に、Akamai はサードパーティの調査会社 TechnologyAdvice とオンライン調査を実施し、アジアの DNB のテクノロジー投資の優先順位と、IT リーダーたちを悩ませている要因を調査しました。

オーストラリア、東南アジア、インド、および中国の 200 人以上のテクノロジーリーダーが、この調査に回答しました。

アジアの DNB のビジネス上の優先事項とテクノロジーに関する懸念事項は？これらのテクノロジー主導型企業は、ソリューションプロバイダーに何を求めているのか？すべてのデジタルネイティブ企業が類似しているのか？

市場競争の激化や消費者層の急速な成長に伴い、調査に応じた DNB の 9 割以上が、次の 12 か月で効率と生産性を重視することを目指しています。

この結果は、DNB 間でのクラウドの急速な普及を裏付ける業界データと一致します。2021 年から 2026 年までのクラウドベースのソリューションに対するテクノロジー支出の伸び率は、非クラウドソフトウェア (16%) と IT サービス (11%) を上回る 37% と予測されています。

個別に動作し、API を介して通信するマイクロサービスを中心に構築されたクラウドネイティブのモジュール型アーキテクチャにより、この地域の DNB は急速に拡張し、増加する顧客のデジタル化に対応できます。

しかし、ソフトウェア、システム、サービスの環境が複雑になりやすく、より大きなサイバー脆弱性にさらされる可能性があります。

クラウドへの移行のどの段階にいるかに関係なく、DNB は、セキュリティがクラウドインフラのパフォーマンスにおける最大のギャップであることを強く認識しています。

実際、IT インフラがますます複雑になっていることは、サイバーセキュリティ体制を強化する上での弱点となる可能性があり、大多数の企業が予算やコンプライアンス以上の問題として挙げています。

クラウドの導入を検討している企業や、クラウドへの移行を目指している企業にとって、そのようなテクノロジーの複雑化に関する問題の増大は警戒すべきかもしれません。

このホワイトペーパーでは、こうしたリスクを緩和するために実行可能な戦略を紹介しています。